



第90期 報告書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

Sensor Innovation
北陸電気工業株式会社



株主の皆様へ

株主の皆様には平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は2024年3月31日をもって第90期を終了いたしましたので、当社グループの

営業の概要ならびに決算につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度の概況

当連結会計年度の世界経済は、米国は堅調な個人消費に支えられ底堅く推移したものの、中国は不動産市況の落込みを背景に減速基調となりました。

わが国におきましては、個人消費が回復基調となり、輸出も欧米向けに自動車が増加しましたが、年度後半では足踏み状態となりました。

そのような環境下、エレクトロニクス市場におきましては、半導体不足の緩和により自動車向け需要は堅調に推移したものの、スマートフォンやパソコン等の需要減に伴い供給制約下で積み上がった在庫の調整が長引いたことを主因に、電子部品需要は総じて停滞基調となりました。

こうした状況のなかで、当社グループ（当社および連結子会社）におきましては、付加価値率の高い新分野への拡販を図る一方、生産効率の改善に努めました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高が40,811百万円（前期比△10.2%）、営業利益は2,271百万円（同△22.8%）となり、経常利益は円安進行に伴い為替差益707百万円を計上したことから3,107百万円（同△13.2%）、親会社株主に帰属する当期純利益は2,538百万円（同+292.0%）となりました。

財政状態

（資産、負債および純資産の状況）

当連結会計年度末は前連結会計年度末に比べ、総資産は現金及び預金が増加したものの、売上債権および棚卸資産が減少したことなどから1,334百万円の減少となり、負債は仕入債務の減少、借入金の純減などから4,333百万円の減少となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べ、2,999百万円の増加となりました。うち、株主資本は、親会社株主に帰属する当期純利益により2,538百万円増加し、剰余金の配当により460百万円減少した他、子会社の新規連結により130百万円増加し、自己株式の取得等により294百万円減少したことなどから1,926百万円の増加となり、その他の包括利益累計額は、アジア通貨高円安による為替換算調整勘定の増加を主因に1,073百万円の増加となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,764百万円増加し、8,018百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は4,519百万円となりました。これは、税金等調整前当期純利益3,092百万円、減価償却費1,017百万円に対し、売上債権が2,155百万円、棚卸資産が1,349百万円、仕入債務が1,949百万円それぞれ減少したことが主因であります。

投資活動の結果使用した資金は737百万円となりました。これは、固定資産の取得による支出698百万円などによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は2,476百万円となりました。これは、借入金の純減1,510百万円、配当金の支払い460百万円、自己株式の取得による支出300百万円などによるものであります。

次 期 の 見 通 し

世界経済は、米国のインフレおよび金融引締めによる景気減速懸念や中東やウクライナ情勢など地政学リスクの高まりを背景に先行き不透明な状況にあります。

エレクトロニクス市場におきましても、自動車向け需要は堅調に推移すると見込まれる一方、民生用電子機器の需要に依然力強さが見られず、回復時期につきましては予断を許さないものと考えており、当社といたしましては、自動車の電子化、機器の高機能化、IoTなどの技術革新が進む市場の変化に対応した取り組みに努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 下 坂 立 正



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表 (2024年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額
(資 産 の 部)	
流動資産	29,029
現金及び預金	10,112
受取手形及び売掛金	8,016
商品及び製品	2,059
仕掛品	3,622
原材料及び貯蔵品	3,569
その他	1,676
貸倒引当金	△28
固定資産	12,616
有形固定資産	8,562
建物及び構築物	2,570
機械装置及び運搬具	2,944
土地	2,737
その他	310
無形固定資産	274
投資その他の資産	3,779
投資有価証券	1,417
繰延税金資産	1,115
その他	2,267
貸倒引当金	△1,020
資 産 合 計	41,645

科 目	金 額
(負 債 の 部)	
流動負債	11,492
支払手形及び買掛金	5,736
短期借入金	3,856
未払法人税等	250
賞与引当金	402
その他	1,246
固定負債	10,046
長期借入金	5,720
リース債務	166
繰延税金負債	6
再評価に係る繰延税金負債	310
退職給付に係る負債	3,774
その他	67
負債合計	21,538
(純 資 産 の 部)	
株主資本	16,812
資本金	5,200
資本剰余金	5,037
利益剰余金	8,025
自己株式	△1,450
その他の包括利益累計額	3,294
その他有価証券評価差額金	400
土地再評価差額金	652
為替換算調整勘定	2,229
退職給付に係る調整累計額	12
純資産合計	20,106
負債・純資産合計	41,645

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位: 百万円)

科 目	金 額
売上高	40,811
売上原価	33,260
売上総利益	7,550
販売費及び一般管理費	5,278
営業利益	2,271
営業外収益	985
受取利息及び受取配当金	135
為替差益	707
その他	142
営業外費用	149
支払利息	70
その他	78
経常利益	3,107
特別利益	198
固定資産売却益	2
取引先関連事業損失戻入益	106
保険解約返戻金	47
その他	42
特別損失	214
固定資産売却損	1
固定資産除却損	52
減損損失	146
その他	13
税金等調整前当期純利益	3,092
法人税、住民税及び事業税	549
法人税等調整額	3
当期純利益	2,538
親会社株主に帰属する当期純利益	2,538

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位: 百万円)

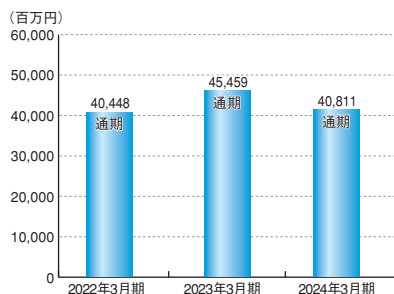
科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	3,092
減価償却費	1,017
減損損失	146
売上債権の減少額	2,155
棚卸資産の減少額	1,349
仕入債務の減少額	△1,949
その他	△1,291
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,519
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△698
投資有価証券の取得による支出	△2
その他	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△737
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純減額	△1,950
長期借入金の純増額	439
自己株式の取得による支出	△300
配当金の支払額	△460
その他	△204
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,476
現金及び現金同等物に係る換算差額	381
現金及び現金同等物の増加額	1,686
現金及び現金同等物の期首残高	6,253
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	78
現金及び現金同等物の期末残高	8,018

(注) 記載の金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

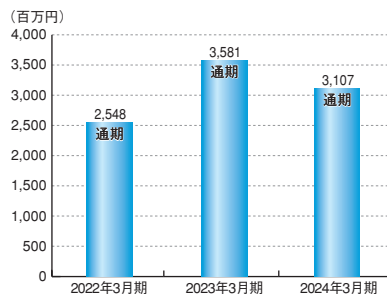


連結決算ハイライト

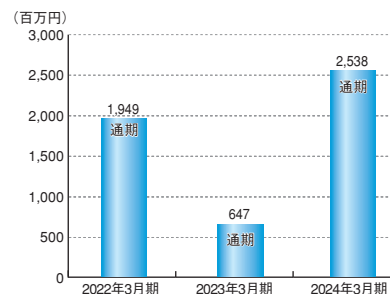
売上高



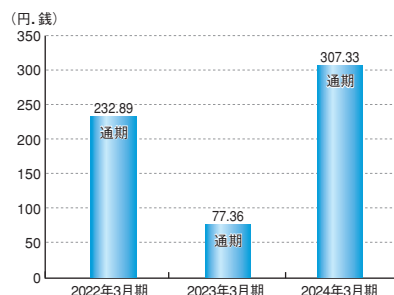
経常利益



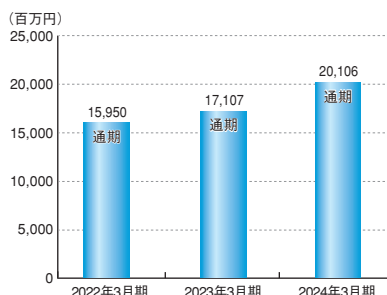
親会社株主に帰属する当期純利益



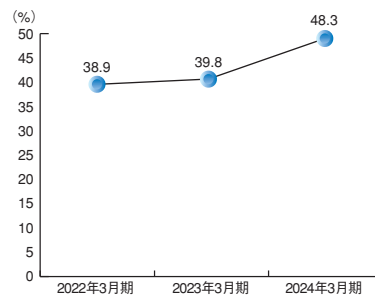
1株当たり当期純利益



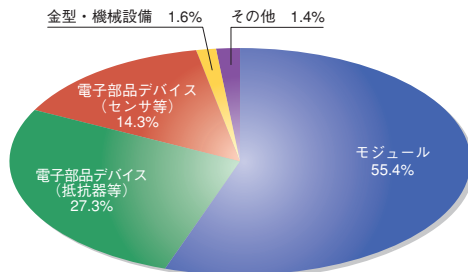
純資産額



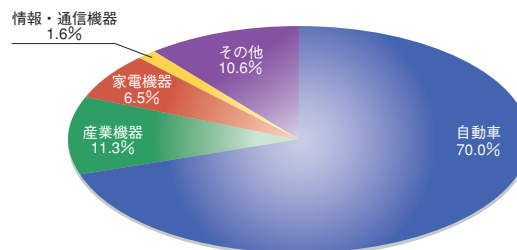
自己資本比率



2023年度 製品別売上高構成比



2023年度 市場別売上高構成比



会社の概況 (2024年 3月31日現在)

報告書 Hokuriku Electric Industry Co., Ltd.

株式の状況

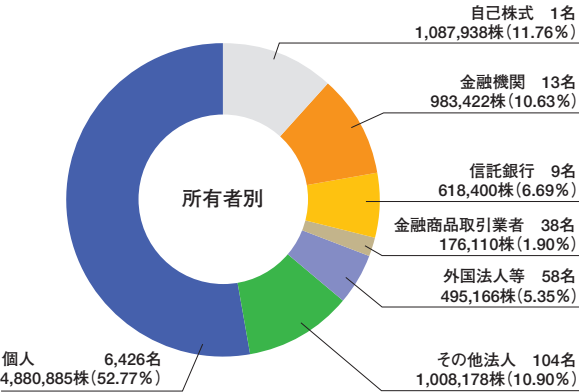
発行可能株式総数 25,000,000株
発行済株式の総数 9,250,099株
株主数 6,649名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数
北電工取引先持株会	477 千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	421
株式会社 フェローテックホールディングス	410
北電工従業員持株会	375
株式会社 北陸銀行	331
株式会社 北國銀行	173
前田建設工業株式会社	164
吉田知広	154
株式会社 富山銀行	139
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	113

(注) 1. 当社は自己株式1,087千株を所有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2. 株式数は、千株未満を切捨てて表示しております。

所有者別分布状況



会社概要

社名	北陸電気工業株式会社
英文社名	HOKURIKU ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD.
所在地	〒939-2292 富山県富山市下大久保3158番地
T E L	076-467-1111
F A X	076-468-1508
U R L	https://www.hdk.co.jp/
設立	1943年(昭和18年) 4月4日
資本金	5,200百万円
事業内容	固定・可変・チップ等各種抵抗器、圧力・加速度・湿度等各種センサ、モジュール製品、ペーストスルーホール基板等各種電子部品の開発・製造・販売、その他の事業

取締役および監査等委員である取締役 (2024年 6月27日現在)

代表取締役社長	下坂立正
取締役会長	多田守男
取締役	西村裕司
取締役	村上吉憲
取締役	安藤正人
取締役常勤監査等委員	すぎもと まなぶ 杉本 学
取締役監査等委員	きたの その まさ ゆき 北之園 雅章
取締役監査等委員	きく しま さと し 菊島 聡史
取締役監査等委員	いむら かず あき 井村 一明
取締役監査等委員	つば かわ さだ こ 坪川 貞子

(注) 北之園雅章氏、菊島聡史氏、井村一明氏および坪川貞子氏は社外取締役であります。



製品紹介

IoT関連商品



産業車両用IoTシステム専用端末

産業車両用IoTシステム専用端末を産業車両に取り付けることにより、位置情報を検知することに加え、端末機に内蔵の各種センサを使用し稼働情報、危険運転操作情報を検知することができます。データはクラウド上にアップロードされ、アプリを介してリアルタイムに情報が把握できます。



ヤマシスト YAMAssist

双方向通信の登山者位置検知システム YAMAssist スマート圏外でも①助けを呼べる②登山者を捜せるシステムです。更に端末同士での定型文やりとりも可能です。



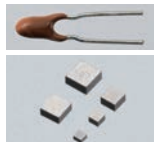
SPRC2 (屋外型ソーラー・無線モジュール/LTE-M/LPWA・センサーソリューション)

見守り(子供、高齢者等)・気象観測・農業等をサポートする屋外型センサーネットワークシステムです。太陽電池を使用しているため電池や配線工事が不要です。

各種センサ群

車載用やIoT機器を中心として幅広い用途に使用されています。

[NTCサーミスタ]



NTCサーミスタ

樹脂コートタイプサーミスタ素子をラインナップしております。樹脂コートタイプは、独自の絶縁コート剤により高い防湿性(耐煮沸性)を実現しており、エアコン等の家電用の他、信頼性が要求される自動車用(室内温、外気温、吸気温、水温等)にも使用可能です。

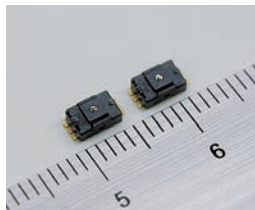
[自動車用センサ]



自動車用センサ

自動車用センサは、高精度であることに加えて厳しい環境変化にも十分機能することができる様に高い信頼性が求められます。当社では、これらのニーズに対応した各種自動車用センサをラインナップしております。

[フォースセンサ]



小型フォースセンサ(0~10N検知タイプ)

小型・薄型で10N以下の微小荷重検知が可能なセンサです。小型低背であり、更に出力がリニアで使いやすく、荷重の微小変化や強弱が検知できるため、調理家電やスタイラスペン等各种アプリケーションに対応可能です。

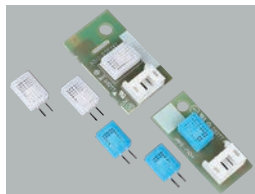
[圧力センサ・圧力センサモジュール]



圧力センサ・圧力センサモジュール

ピエゾ抵抗式の半導体圧力センサです。センサ単体の他、水位検知、ガス圧検知等の各種圧力センサモジュールをラインナップしています。中でも水位センサモジュールは、ミリメートル単位の検知が可能で非常に高精度であり、またアナログ出力、デジタル出力タイプを取り揃えており、更に取付けタイプも基板取付けタイプ、フランジねじ取付けタイプを用意し、洗濯機や食器洗い機、エコキュート等各种水位センシングのニーズに対応しています。

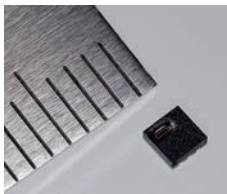
[抵抗式湿度センサ]



抵抗式湿度センサ

快適な生活空間に欠かせない湿度センサ。当社の抵抗式湿度センサは、1986年よりエアコンや除湿機、事務用機、更には自動車等各种用途向けに幅広く使用されており、高い実績と信頼性を得ています。

[容量式湿度センサ]

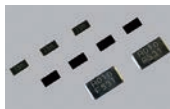


容量式湿度センサ

以前から実績のある抵抗式湿度センサに加え、新たに2mm角と超小型サイズの容量式湿度センサをラインナップに加えました。抵抗式では計測が困難であった0%RH~100%RHの広範囲の計測が可能です。更に応答時間が世界最速(既存品の10秒程度から1秒以内まで応答性を改善)である高速応答タイプ容量式湿度センサも開発しました。

■ 高付加価値チップ抵抗器

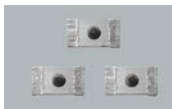
【金属板抵抗器】



金属板抵抗器

電流計測用のチップタイプの金属板抵抗器です。数mΩの超低抵抗まで製造可能です。

【耐アーク性チップヒューズ】



耐アーク性チップヒューズ

独自の素材、構造によって1608サイズの小型でありながら高定格電圧で強力なアーク抑制特性を実現した速断タイプのチップヒューズです。

【耐サージ形高電力チップ抵抗器】



耐サージ形高電力チップ抵抗器

耐サージ形高電力チップ抵抗器製品に比べて定格電力が大きく車載用に最適です。

【JAXA認定チップ抵抗器】

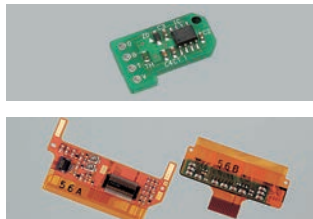
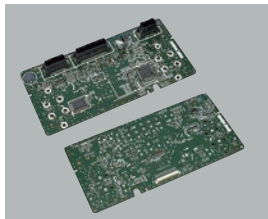


高信頼性チップ抵抗器

JAXA認定の宇宙用の高信頼性チップ抵抗器です。

■ 主要製品

【モジュール製品】



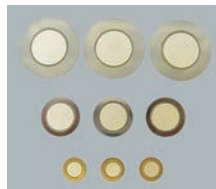
各種電子回路機能モジュール



実装モジュール

先端実装技術を駆使したモジュール製品。従来からの民生用液晶モジュールに加え、車載液晶モジュールや自動車用メーターパネル等の各種車載用モジュールを拡大するとともに、白物家電、ヘルスケア等各種分野へ幅広く展開しております。

【圧電部品】



圧電振動板



圧電サウンダー・スピーカー

独自の圧電材料技術、積層技術により生み出される圧電サウンダー、スピーカー、アクチュエーター等の圧電部品は、省エネで薄型であり、車載用や民生用に幅広い分野で使用されています。

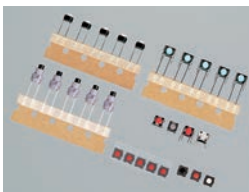
【各種チップ部品】



各種チップ部品

車載電装品、生活家電等の製品に欠かせない各種チップ部品。当社では0402サイズの超小型チップ抵抗器の他、チップネットワーク抵抗器、チップ半固定可変抵抗器、また電流検出用チップ低抵抗器、耐硫化チップ抵抗器、耐サージチップ抵抗器、高電力チップ抵抗器（長辺電極チップ抵抗器）等の高機能チップ抵抗器、チップヒューズ等各種チップ部品を取り揃えています。

【機構部品】



タクティールスイッチ

あらゆる機器に使用されるタクティールスイッチ。当社では、汎用タイプの他、白物家電向けの防水タイプも製品化しており、更に端子形状もリードタイプ・表面実装タイプをラインナップしております。

【ペーストスルーホール基板】



銀・銅ペーストスルーホール基板

ますます電子化が進展する自動車。当社のペーストスルーホール基板は、民生用電子機器の他、自動車のメーターパネル用としても使用されています。



HOKURIKUグローバルネットワーク



株式事務のご案内

□ 報告書

Hokuriku Electric Industry Co., Ltd.

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
一単元の株式の数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 受付時間 月～金 9:00～17:00（土・日・祝日を除く） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東証スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.hdk.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

【お知らせ】

株券電子化によるご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。従来同封いたしておりました当社専用の「配当金振込指定書」は同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ご案内

INFORMATION

記載の連結財務諸表等の詳細につきましては、
当社のホームページのIR情報の決算情報にて
ご覧いただけます。



<https://www.hdk.co.jp/>



北陸電気工業株式会社

〒939-2292 富山県富山市下大久保3158番地
TEL.076-467-1111 FAX.076-468-1508
3158 Shimo-okubo, Toyama-City, Toyama Pref. 939-2292, JAPAN



この冊子は植物性インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。